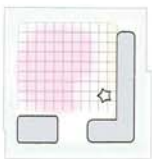


新しい銘南のシンボル

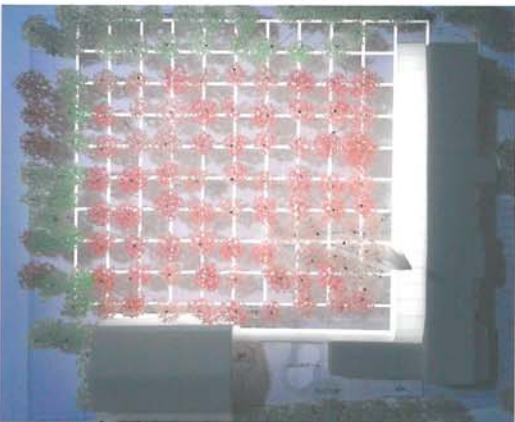


高さ20mの星の風車が新しいランドマークとなり、広場と建物を繋ぐ長さ70mの帆布製大型テントがひときわ目を引きまします。夜には「塔」と「屋根」がくっきりと明るく浮かび上がります。

おもてなしの里のランドスケープ



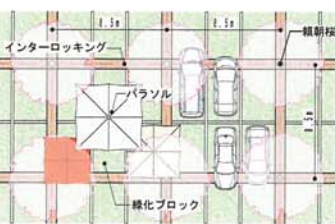
小学校のグラウンドは森をイメージしたオープンスペースに生まれ変わります。グラウンドの周囲は既存樹木を残し、落葉樹や常緑樹の高木を混植します。中央の広場には8.5mのグリッドを敷き、各交点に類朝桜を配します。グリッドの格子はペーブメントの意匠でもあり、色々な装置のセットや駐車の見目にもなります。色々な装置のセットや駐車の見目にもなります。100本ほどの類朝桜でお花見の季節には見ごたえのある名所になります。



『おもてなしロード』産直所が顔をだしたり、特設販売スペースに使ったり、買い物客の休憩所になったりと、人と人が出会い交流する場となります

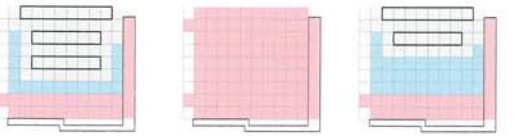
目的に応じて変化する森の広場

- グリッドの敷かれた広場は駐車場、朝市会場、アウトキャンプ場、町のイベント会場等と目的規模に応じた可変対応の広場となります。
- セルフビルドできるパラソルやバーベキューセットを貸し出します。
- 人が集う広場には使う用途に応じて色とりどりのパラソルが開き、華やかなスペースが生まれます。



《広場を構成する基本グリッド》

- 森の広場は人々が主役の緑の広場と機能的な駐車場になり、催事に合わせて様々な大きさのスペースに変換します。



通常利用時
 駐車場80台
 オートキャンプ・バーベキュー
 朝市ゾーン

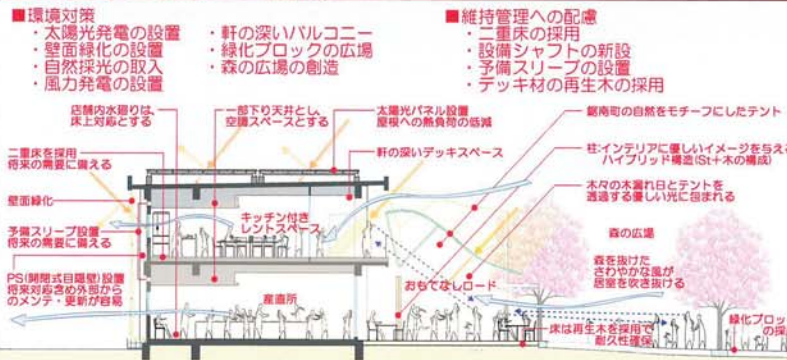
お祭り・イベント時
 朝市・お祭りゾーン

夏休みアウトキャンプ
 駐車場30台
 オートキャンプ・バーベキュー
 朝市ゾーン

銘南町の自然をテーマにしたアート 維持管理しやすい設備計画と環境対策

～グラウンドと校舎を繋ぐ装置～

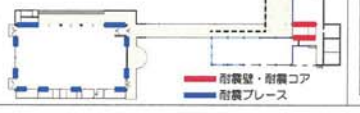
校舎とグラウンドの間に光が差し込む半屋外空間を設けます。ここは来訪者同士やスタッフとの偶発の出会いが起こり、各所への動線の起点にもなります。産直売場が顔を出したり、広場側からみるとダイナミックでモダンな外装が広がり、銘南の白い雲や波のイメージを伝えたいと意図しています。夜間は白い膜がくっきりと光り地域のランドマークとなります。



構造：フレキシブルな空間の提案

小学校のために設計された校舎のフレームは新たな交流拠点のために生まれ変わります。

- 校舎
 - ・校舎の柱、梁、耐震コアのシンプルな構造体とし、建物の構造的なバランスと強度を確保します。
 - ・これからの可変的な建築計画に対応できるように耐震壁の一部を取外し、大きな室内空間を確保します。
 - ・必要に応じて耐震壁撤去に伴う補強を行います。
- おもてなしロードにかける大屋根
 - ・軽やかな鉄骨と高性能の膜によって作られる大屋根は出来るだけ軽量化を計ります。
 - ・このテント膜構造は本体とは構造的に連続しない構造とします。
- 建物耐用年数
 - ・コンクリートの中性化防止の為、外装に弾性系の吹付材でコーティングを行います。



災害時の防災拠点

- 災害時の避難場所として防災備蓄庫や非常用電源を完備。災害支援や救済物資の中継拠点として機能します。
- キッチン付レントスペースや隣接する給食センターと連携して、炊き出しの拠点としても機能します。
- 太陽光・風力発電等、自然エネルギーを利用した電力供給を行う

予算配分・工事費低減の工夫

区分	工事費(総額)	工事比率
1)内・外躯体・耐震補強	48,272,000	6.0%
2)外構工事	235,200,000	29.4%
3)設備費	413,936,000	51.8%
建築	193,760,000	(24.2%)
設備	220,176,000	(27.6%)
4)体育館	102,592,000	12.8%
建築	54,478,800	(6.8%)
設備	48,113,200	(6.0%)
合計	800,000,000	100.0%

■工事費低減の工夫
 ・解体によるRC躯体は砕石等現場への転用を計ります。
 ・積極的な自然エネルギー採用、各所の緑化、自然換気等の利用により、設備負荷を軽減し、設備費の低減を計ります。

キッチン付レントスペース

- 貸切にして一日中食を楽しむ銘南の新鮮食材を使って家族・友達と料理を楽しむことが出来ます。
- 料理教室
広場に面したテラスと隣接し、明るく開放的な空間で気軽に通える教室となります。
- 会議室・研修室
既存の黒板を生かし、会議室・研修室としても利用できます。
- グループ活動
間仕切りを外して大きな一部屋とすることでそれぞれの目的に合わせて幅広く対応します。



小さな子供連れに対応(チルドレンパーク)

- チルドレンパークは来館の目的となるような施設として整備します。屋外広場と一体的に利用し、ふわふわドーム、どろんこ広場、児童図書館、ごろごろ広場、など子供達が自由に遊べる空間とします。
- 屋内イベント広場はチルドレンパークに向けて開閉できる扉を設け、屋外ステージではヒーローショーなどのイベントが行われます。また子供達の活動スペースとして利用する場合は扉を開放することでチルドレンパークと連続して利用することが出来ます。
- 体験学習や親子参加型のイベントを開催。遊ぶだけでなく学ぶ施設としての機能を提案します。
- ベビーマッサージや育児相談など地元親子へ子育て支援プログラムを開催します。
- 子育て世代の集客からリピーター、将来的な定住へ施設全体で情報提供や定住のサポートをします。



銘南町の案内所

- カフェ＆情報コーナー
『新鮮な魚が食べられる店は？』『いちご狩りはどこでできる？』『地元の名産品は？』等素朴な質問にも気軽に答えられます。いつでも自由に利用できる本コーナーは情報提供と共におもてなしの里のフロントとしての機能を持ちます。
- 銘南町の案内所、タッチパネル、パンフレットなどの情報ツールの充実を図り、情報ターミナルとすることで本施設への集客から銘南町及び南房総への送客につなげます。



屋内イベント広場(体育館)

- 森の広場及びチルドレンパークに向けて新たに開口部を設け、体育館の機能を残しつつも時として外部空間と一体的に利用できるように提案します。
- 屋内イベント広場では運動会・バスケットボール・バレー・バトミントン・コンサート・フリーマーケットなど様々な行事に対応します。また、時間貸し以外の時間はチルドレンパークに開放し、子供たちが自由に遊べる空間となります。

